

# 令和2年度 岩手山火山防災協議会第1回幹事会

日時：令和3年2月9日(火) 13時30分～

場所：岩手県産業会館 7階 大ホール

## 次 第

### 1 開会

### 2 挨拶

### 3 議事

#### (1) 報告

ア 岩手山の火山活動状況について（資料1）

イ 岩手山火山防災に係る今年度の取組について（資料2、資料3）

#### (2) 協議

ア 岩手山火山防災に係る来年度の取組について（資料4）

### 4 その他

### 5 閉会

<資料一覧>

- 【資料1】 令和2年(2020年)の岩手山の火山活動 (盛岡地方気象台)
- 【資料2-1】 岩手山火山防災に係る今年度の取組 (県総合防災室)
- 【資料2-2】 <参考>内閣府避難確保計画検討支援事業概要 (県総合防災室)
- 【資料2-3】 内閣府による避難確保計画検討支援を受けた避難確保計画策定状況  
(県総合防災室)
- 【資料3-1】 岩手山火山避難計画の周知状況及び避難促進施設の指定に向けた対応状況  
(県総合防災室)
- 【資料3-2】 <参考>避難促進施設の指定に向けた施設選定の目安 (県総合防災室)
- 【資料4】 岩手山火山防災協議会の今後の主な取組 (案) (県総合防災室)
- 【資料5】 <参考>岩手山噴火時等の避難確保計画 (ひな形) (県総合防災室)

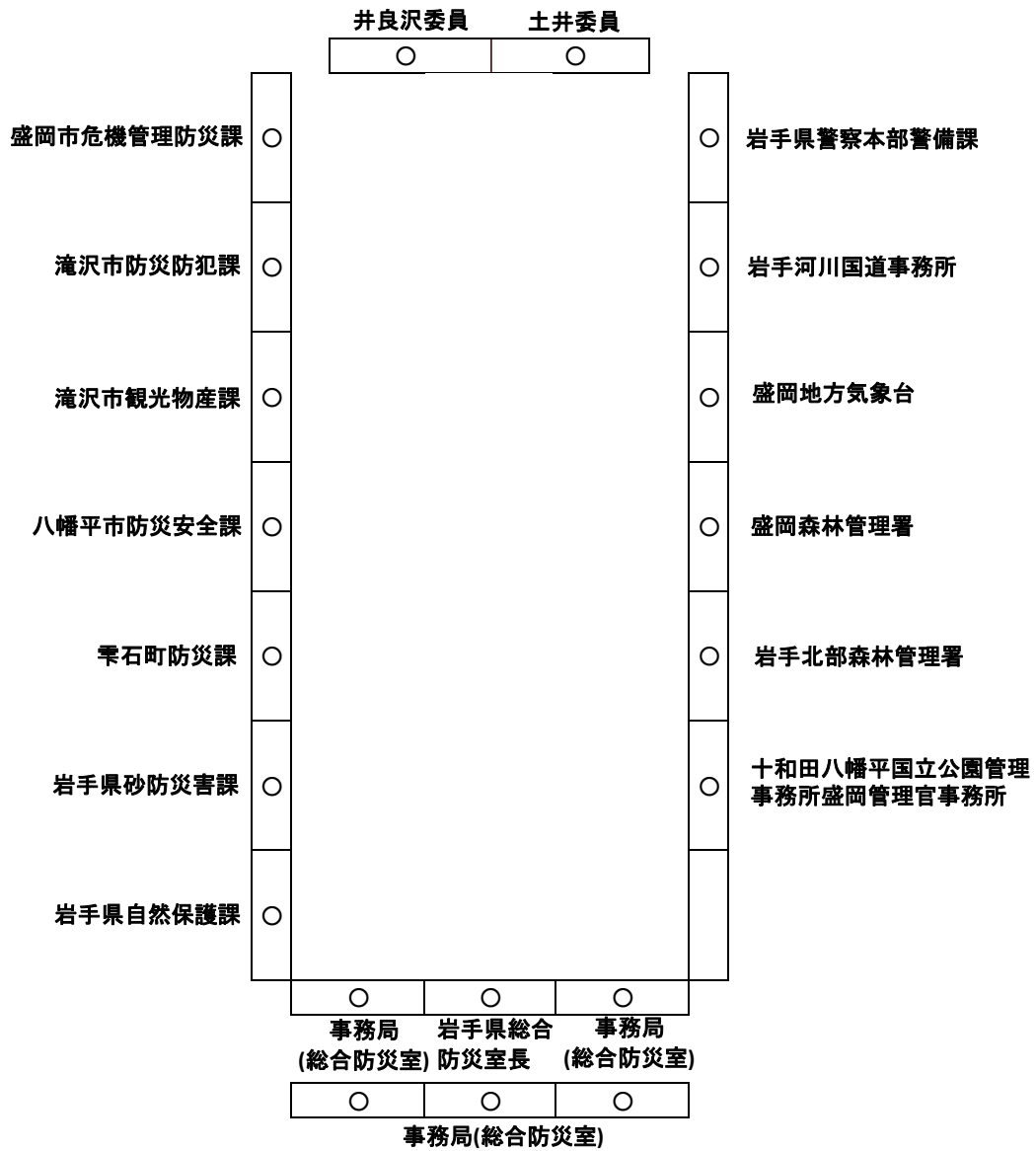
## 令和2年度岩手山火山防災協議会第1回幹事会 出席者名簿

機 関 名	幹 事			代 理 出 席 者	
	職 名	氏 名		職 名	氏 名
<b>有識者</b>					
岩手大学地域防災研究センター	客員教授	土 井 宣 夫	出		
岩手大学	教授	井良沢 道 也	出		
<b>関係機関</b>					
岩手県総務部総合防災室	室長	藤 澤 修	出		
岩手県環境生活部自然保護課	総括課長	谷 藤 親 史	代理	自然公園担当課長	小 山 隆 春
岩手県県土整備部砂防災害課	総括課長	菅 原 博 秋	出		
岩手県警察本部警備部警備課	課長	今 野 清 彦	代理	災害対策係長	藤 原 巧
盛岡市総務部危機管理防災課	課長	吉 田 清 光	出		
八幡平市防災安全課	課長	畑 山 直 己	出		
滝沢市市民環境部防災防犯課	課長	日 向 秀 次	出		
滝沢市経済産業部観光物産課	課長	大 槻 智 康	代理	総括主査	高 橋 聡
雫石町防災課	課長	大久保 浩 和	出		
<b>国等関係機関</b>					
東北地方整備局 岩手河川国道事務所	事業対策官	飯 田 学	出		
盛岡地方气象台	防災管理官	佐 藤 英 彦	出		
東北森林管理局盛岡森林管理署	次長	石 田 和 彦	出		
東北森林管理局岩手北部森林管理署	次長	堀 内 正 直	出		
東北地方環境事務所十和田八幡平国立 公園管理事務所盛岡管理官事務所	国立公園管理官	秋 月 亮 介	出		

<事務局(岩手県)>		
岩手県総務部総合防災室	防災危機管理監	西 島 敦
	防災危機管理担当課長	菊 地 真 司
	主事	熊 谷 昌 夫
	主事	村 田 佳 之
	主事	吉 田 凌

# 令和2年度岩手山火山防災協議会第1回幹事会 座席配置図

入  
口



入  
口

○	○	○	○	○
随行者	随行者	随行者	随行者	随行者
○	○	○	○	○
随行者	報道機関	報道機関	報道機関	報道機関
○	○	○	○	○
報道機関	報道機関	報道機関	報道機関	報道機関
○	○	○	○	○
傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席	傍聴席

## 岩手山火山防災協議会「第1回幹事会」会議録

※ 各発言については、適宜要約して記載しているもの。

### ■ 日時等

- 日 時 : 令和3年2月9日(火)13時30分～14時15分
- 場 所 : 岩手県産業会館 7階大ホール
- 出席者 : 別紙「出席者名簿」のとおり
- 次 第
  - 1 開会
  - 2 挨拶
  - 3 議事
    - (1) 報告
      - ア 岩手山の火山活動状況について
      - イ 岩手山火山防災に係る今年度の取組について
    - (2) 協議
      - ア 岩手山火山防災に係る来年度の取組について
  - 4 その他
  - 5 閉会

### ■ 概要

#### 3 議事

##### (1) 報告〈進行：幹事長（藤澤 総合防災室長）〉

##### ア 岩手山の火山活動状況について

###### 〈幹事長〉

- ・ 盛岡地方気象台から説明をお願いします。

###### 〈佐藤 幹事（盛岡地方気象台 防災管理官）〉

- ・ 【資料1】「令和2年（2020年）の岩手山の火山活動」に基づき説明する。
- ・ 岩手山の火山活動は、地震活動、噴気活動は低調で地殻変動も火山活動に伴う特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過している。
- ・ 噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況も2020年中変更なく、噴火予報は噴火警戒レベル1、活火山であることに留意で推移している。
- ・ 監視カメラによる観測では、黒倉山山頂からの噴気は30m以下で経過し、大地獄谷で弱い噴気が認められた。大地獄谷及び黒倉山の地熱域に特段の変化は認められなかった。
- ・ 上空からの観測では、岩手山山頂付近、黒倉山山頂、黒倉山東側崖面、西小沢及び大地獄谷の噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められなかった。
- ・ 現地調査では、岩手山山頂付近で引き続き地熱域が認められた。
- ・ 地震や微動の発生状況であるが、火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されなかった。
- ・ 地殻変動の状況であるが、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

###### 〈幹事長〉

- ・ ただいまの説明に対し意見はあるか。
- ⇒ 意見なし（出席者全員）

## イ 岩手山火山防災に係る今年度の取組について

### 〈幹事長〉

- ・ 事務局から説明をお願いします。

### 〈事務局（菊地 防災危機管理担当課長）〉

- ・ では、【資料2-1】「岩手山火山防災に係る今年度の取組」を御覧ください。
- ・ 令和2年度は、岩手山の避難計画の周知として、1(1)に記載のとおり、平成30年度末に改訂した「火山防災マップ」を活用し、地元市町村と連携しながら地域住民や登山者等に避難計画の周知を図った。
- ・ 具体的には【資料3-1】の「岩手山火山避難計画の周知状況及び避難促進施設の指定に向けた対応状況」1の「各市町村における岩手山避難計画の周知状況」のとおりである。
- ・ また、1(2)の避難促進施設の指定に向けた取組については、記載のとおり、内閣府が募集した避難確保計画検討支援事業に滝沢市が応募し選定されている。具体的な避難促進施設としては、滝沢市柳沢の「柳沢小中学校」で、内閣府、滝沢市、岩手県との打合せなどにより、意見交換を行いながら進めている。
- ・ 内閣府の避難確保計画検討支援事業については【資料2-2】のとおり、当該事業は令和元年度から実施しているもので、集客施設等の所有者の避難確保計画作成を支援し、支援から得られた知見を全国で共有することで、各避難促進施設における避難確保計画の作成を促進することを目的としている。都道府県や市町村等を交えて、避難確保計画の作成に当たり具体的な課題と解決策を検討するものである。
- ・ 滝沢市における現在の状況については、【資料2-3】の記載のとおり、令和2年6月9日の第1回打合せから11月26日の第4回の打合せまで、施設の現状や避難訓練を視察し、避難手段を含む避難行動の整理等の検討を行い、年度内に避難確保計画が作成される見込みである。
- ・ ここで今回の支援事業を進めるに当たり、避難促進施設との調整を担った滝沢市から報告があるので、滝沢市より紹介する。

### 〈説明担当：滝沢市防災防犯課 村田主査〉

- ・ 活動火山対策特別措置法に基づく避難確保計画については、内閣府から「ひな形」が示され、「噴火警戒レベルの引上げがなく、突発的に噴火した場合」についても、情報伝達及び避難誘導を要する想定の一つとされている。
- ・ 当該施設は融雪型火山泥流の流下が想定されている地域であり、当初自家用車を使用した水平避難を想定していたが、「突発的に火山が噴火したという想定」で実際に避難訓練を実施したところ、泥流が到達するまでの時間に確実に避難することが出来ないことが分かった。
- ・ また、冬季間は車両に積雪がある場合、フロントガラスが凍結している場合等も想定され、速やかな出発はできないとの意見もあり水平避難は断念した。
- ・ 学校の建物が鉄筋コンクリート2階建以上ということから、垂直避難により建物内に留まる避難方法を選択することが出来た。

- ・ 今回は市立の学校ということもあり避難確保計画の策定について理解が得られ易かったが、今後集客施設等において同じような進め方で策定していけるか、建物が木造や平屋の施設の場合、避難方法をどうすべきか課題となって来ると考えている。

#### 〈事務局（菊地 防災危機管理担当課長）〉

- ・ ありがとうございます。
- ・ 続きまして、【資料3-1】2(1)は警戒範囲内にある施設のリストアップの状況で、令和元年度の調査に基づく施設数です。
- ・ 2(2)の「避難促進施設の指定に向けた取組スケジュール」であるが、今年度まで選定と指定の2項目としていたが、選定の項目の中には「施設の選定」と「施設管理者との調整」が含まれ、また、指定の項目の中には「地域防災計画に規定する避難促進施設の指定」と「指定を受けた避難促進施設が行う避難確保計画の作成」が含まれ、取り組む内容が分かり難かったことから、令和3年度は①選定、②調整、③指定、④避難確保計画作成、の項目に整理している。
- ・ 具体的には、火口に近い「東岩手火口の中心から概ね4km又は西岩手想定火口の中心から概ね2km以内の区域に設置されている施設」については、すでにリストアップがされている。
- ・ 「火口周辺以外の警戒範囲に設置されている施設」については、令和元年度に作成した【資料3-2】「避難促進施設の指定に向けた施設選定の目安」を基に、市町村間の情報交換を図るため令和3年度以降打合せを行いながら選定を進め、候補施設の管理者との調整・市町毎の地域防災計画に避難促進施設として指定を行う等、取組を進めていく。
- ・ また、避難確保計画作成については、内閣府の支援事業の支援を受けた柳沢小中学校の避難確保計画が年度内に作成される予定となっていることから、令和3年年度は当該計画を基に、避難確保計画の作成に関する情報を関係市町に展開する。
- ・ 【資料2-1】の2の「岩手山の火山活動状況調査」に係る取組であるが、岩手県防災ヘリを使用した機上観測及び例年合同で実施していた登山による現地調査は今年度岩手大学土井客員教授による単独調査となったが、いずれも大きな変化は見られなかった。
- ・ また、有識者等で構成する「岩手県の火山活動に関する検討会」を開催し、岩手山の火山活動については平穏な状態にある、噴気温度が沸点を超える地点が見つかっており、今後の変化に注視が必要であると評価されている。

#### 〈幹事長〉

- ・ ただいまの説明に対し意見はあるか。
- ⇒ 意見なし（出席者全員）

#### (2) 協議〈進行：幹事長〉

##### ア 岩手山火山防災に係る来年度の取組について

#### 〈幹事長〉

- ・ 事務局から説明をお願いします。

#### 〈事務局（菊地 防災危機管理担当課長）〉

- ・ 【資料4】の「岩手山火山防災協議会の今後の主な取組」の表中の「令和3年度以降」の取組内容（予定）に記載のとおり、令和3年度以降は、主に、避難促進施設の指定に向け、昨年度作成した「避難促進施設の指定に向けた施設選定の目安」を基に関係市町村と打合せを行い、施設管理者等との調整を行いながら、市町村地域防災計画を修正し、順次、避難促進施設の指定を行っていく。
- ・ 避難促進施設に指定された施設は、「避難確保計画」を作成することとなるが、避難確保計画策定支援事業により策定する避難確保計画を基に、作成に関する情報を展開し作成に係る支援を行っていく。スケジュールについては、【資料3-1】の「岩手山火山避難計画の周知状況及び避難促進施設の指定に向けた対応状況について」の2(2)の「避難促進施設の指定に向けた取組スケジュール」のとおりである。

#### 〈幹事長〉

- ・ ただいまの説明に対し意見はあるか。
  - ⇒ 柳沢小中学校において避難確保計画が策定されるとのことであるが、融雪型火山泥流が突発的に発生した場合は、先程の報告のとおり水平避難は無理であり、垂直避難がより良い方法と思うが、ある程度前兆が発生した場合は水平避難が可能ではないかと思うが、如何か。
    - また、令和3年度における当該校における避難訓練の予定は如何に。（井良沢 幹事（岩手大学教授））
  - ⇒ 紹介した内容は「突発的な噴火をした場合」の避難をする時間的な余裕がない場合のものであり、前兆がある場合（事前に噴火警戒レベルが引き上げられる場合）等、シナリオを分けて作成している。これまでも避難訓練は行っているが、来年度の訓練については滝沢市に説明をお願いする。〈事務局（菊地 防災危機管理担当課長）〉
  - ⇒ 柳沢小中学校は毎年度、火山災害対応の避難訓練を実施しており、令和3年度についても今年度作成する避難確保計画に基づいた避難訓練を実施し、そこで課題が出れば修正する形で進めて行く。〈説明担当：滝沢市防災防犯課 村田主査〉

#### 〈幹事長〉

- ・ その他、幹事の皆様から発言があるか。
  - ⇒ 意見なし（出席者全員）
- ・ それでは、お諮りする。議題「岩手山火山防災に係る来年度の取組について」は、原案のとおりに進めることとしてよろしいか。
  - ⇒ 異議なし（出席者全員）
  - ⇒ 議題「岩手山火山防災に係る来年度の取組について」は、原案のとおりに進める。

## 4 その他

#### 〈幹事長〉

- ・ 協議は以上であるので、次第の「4 その他」に移る。盛岡地方气象台から情報提供がある。盛岡地方气象台から説明をお願いする。



〈佐藤 幹事（盛岡地方気象台 防災管理官）〉

- ・ 岩手山の地震活動について情報提供するもの。
- ・ 2月6日10時37分頃、岩手山山頂から東に約5km付近、深さ4.6kmを震源とするマグニチュード2.4の地震が発生した。この地震で八幡平市の1地点で震度1を観測した。6日から8日にかけて同ような場所で合計10回程地震が発生している。
- ・ 地震活動以外の表面現象とか地殻変動には異常がないが、今回地震が発生した地点は過去において目立った地震活動がなかったところで、今後の推移に注意している。

〈説明担当：盛岡地方気象台 藤原火山防災官〉

- ・ 「火山への登山のしおり」について情報提供するもの。
- ・ 気象庁で登山者向けに、緊急連絡先、気象情報の入手先、登山計画の提出先等を記載した「火山への登山のしおり」を年間数火山ずつ作成している。
- ・ 今年度、岩手山と秋田駒ヶ岳のしおりを作成したので、今年の観光シーズン前に周辺の宿泊施設とか学校関係に配りたい。

〈幹事長〉

- ・ その他の紹介事項として、事務局から説明をお願いする。

〈事務局（菊地 防災危機管理担当課長）〉

- ・ 【資料5】として、避難促進施設に指定された施設が作成する避難確保計画の「ひな形」を添付している。避難確保計画作成の際に参考としていただきたい。

〈幹事長〉

- ・ その他、幹事の皆様から発言があるか。
- ⇒ 発言なし（出席者全員）
- ・ 本日の議事を終了する。

## 5 閉会

〈事務局（菊地 防災危機管理担当課長）〉

- ・ 今後の予定であるが、3月18日（木）に岩手山火山防災協議会を開催し、本日いただいた御意見等を踏まえ、御審議いただく予定である。開催方法は後日検討の上、案内を送付する。
- ・ 以上をもって、岩手山火山防災協議会幹事会を終了する。